

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 019	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 スクミリンゴガイの孵化防止対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 水稻を食害するスクミリンゴガイの生息地域が拡大しており、年々被害が増加する傾向にある。特に、用水の流れに沿って下流域へ貝が移動するため、発生地域を増やさないためには、用水路での繁殖を防ぐ必要がある。用水路での繁殖を防止するためには、貝の捕殺や卵塊をつぶす手だてが有効であるが、手の届かない、つぶしにくい、発生密度が多い場所では対応が難しい。 そこで、孵化させない技術（卵塊に散布することで孵化を防止できる薬剤、交尾攪乱等）の開発をお願いしたい。 平成28年度県下発生地域及び面積 県央・湘南・県西地域 約97.2ha	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産環境部病害虫研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等 今回要望でいただいた「卵塊に散布することで孵化を防止できる薬剤・交尾攪乱等の孵化させない技術」については農薬登録が必要となってまいります。 要望に添うような登録農薬については現在のところありませんが、農研機構および各メーカーでの取り組み状況について調査するとともに、同時に開発について要望してまいります。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	